

記載例(既存事業者用(飲食業))

振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書

事 項		内 容
振興計画上の位置付け		衛生に関する知識及び意識の向上・禁煙等に関する対策
生産性向上に係る事業計画書の有無		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 有 (裏面参照：低減利率 0.30%) </div> <div style="text-align: center;"> 無 (表面のみ：低減利率 0.15%) </div> </div>
本事業計画の目標達成期間		平成31年4月1日～令和4年3月31日 (3年間)
現状分析	立地条件	駅前に立地
	主な顧客	サラリーマン、OL、子供連れの女性
	お店の特徴	契約農家から安全な食材を取り寄せている。
	お店の強み	駅前に近いので立地条件は良い。
経営課題 (何が問題となっているか)		店舗の老朽化。 景気の低迷による売上高の伸び悩み。 女性向けカフェなどライバル店の出現 店内喫煙可であることによる女性客の減少。
経営課題の解決策		仕入商品の見直しや、人件費等経費の削減。 店舗を改修し、明るく衛生的なイメージに。 厨房設備を改修し、従業員が効率的に作業を行えるようにする。 ランチタイムの禁煙。
経営課題の解決の為に必要な費用		運転資金 設備資金 ※○をつける 借入内容 店舗改修(老朽化対策・厨房設備改修、禁煙化対策) 内 訳 (見積書 別添) 店舗改修費用 ○○千円 換気設備取替 ○○千円 合計 ○○千円 (詳細は借入申込書参照)
資金調達計画		・自己資金 ○○千円 ・日本公庫 ○○千円
期待される成果等 (売上の増加、来客数の増加、経費の縮減等できるだけ具体的に記載)		①新たな顧客の開拓(特に子供連れの女性) ②20%の売上増(特にランチの売上げ30%) ③作業しやすい店内に改装することで、人件費を削減 → ①～③の成果により、収益を3年以内に5%増加。

平成31年4月〇〇日

下記の事業計画書を提出します(該当するものを☑してください。)

- | |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 生産性向上に係る事業計画書 |

(商号又は法人名) キッチン〇〇
 (住所又は所在地) 〇〇県▲▲市◇◇町1-2-3
 (事業主又は代表者名) 田中 花子

上記事業計画について、確認済みである。

会計書類は、**青色申告書** その他()を事業者において準備していることを確認した。

平成31年4月〇〇日

(組合名) 〇〇県飲食業生活衛生同業組合
 (理事長名) 中田 一郎

組合記入欄 (この欄は記入しないでください)	事業成果についての理事長の評価、所見等	年	月	日記載
---------------------------	---------------------	---	---	-----

(裏面)

生産性向上に係る事業計画書（振興事業促進支援融資制度）

1. 計画の内容（生産性向上ガイドライン・マニュアルに基づく取組み）

生産性向上ガイドライン・マニュアル上の位置づけ	
領域	分類（該当するもの全てに☑を付ける。）
収益向上	<input checked="" type="checkbox"/> 特長ある店舗・施設づくりで業績を改善しよう
	<input type="checkbox"/> 費用を削減して収益性を高めよう
	<input type="checkbox"/> ICTを活用して集客力を高めよう
顧客満足向上	<input checked="" type="checkbox"/> お客様の満足度を高めよう
	<input checked="" type="checkbox"/> 優良顧客を増やそう
	<input type="checkbox"/> インバウンドのお客様を増やそう
	<input type="checkbox"/> 従業員のスキルとやる気を高めよう
労働環境改善	<input checked="" type="checkbox"/> 作業しやすいお店・職場にしよう
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的に作業しよう
	<input type="checkbox"/> 人的ミス（ヒューマンエラー）をなくそう

2. 生産性向上の目標

計画期間 (注1)	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日（3年間）
--------------	----------------------------

領域	具体策	現状 (注2)(注3)	計画期間終了後 (注2)
収益向上	・ランチタイムを禁煙にし、子供連れの女性客を取り込むことで売上増加につなげる。 ・店内を明るく清潔なイメージにし、新規顧客を取り込むことで売上増加につなげる。	売上 3,000千円/月	売上 3,600千円/月 (現状より20%増加)
顧客満足向上	・店舗リニューアルにより、顧客満足度を高め、優良顧客を増やすとともに、リピーター率を高める。	リピーター割合 20%	リピーター割合 25%
労働環境改善	・店内に加え、厨房も改修工事を行う。特に水回りを今より広くして、1名から2名で対応できるようにし、効率的に作業できるようにする。	人件費 75万円/月	人件費 71万円/月 ※時給800円の従業員 1名、2時間/日削減可 800円×2時間×25日 =4万円の削減

	現状(注3)	計画期間終了後
営業利益	〇〇〇千円	〇〇〇千円

(注1) 計画期間は「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」の「本事業計画の目標達成期間」を記載してください。

(注2) 可能な限り、数値を用いてご記載ください。

(注3) 創業前及び創業後1年未満の場合は、見込を記載してください。

3. 実施にあたり、指導を受けている経営指導員等の専門家がいる場合は、その専門家の所属・名前

(所属している機関名)	〇〇県飲食業生活衛生同業組合
(担当者名)	佐藤 次郎

(裏面)

生産性向上に係る事業計画書（振興事業促進支援融資制度）

1. 計画の内容（生産性向上ガイドライン・マニュアルに基づく取組み）

生産性向上ガイドライン・マニュアル上の位置づけ	
領域	分類（該当するもの全てに☑を付ける。）
収益向上	<input checked="" type="checkbox"/> 特長ある店舗・施設づくりで業績を改善しよう
	<input type="checkbox"/> 費用を削減して収益性を高めよう
	<input type="checkbox"/> ICTを活用して集客力を高めよう
顧客満足向上	<input checked="" type="checkbox"/> お客様の満足度を高めよう
	<input type="checkbox"/> 優良顧客を増やそう
	<input type="checkbox"/> インバウンドのお客様を増やそう
	<input checked="" type="checkbox"/> 従業員のスキルとやる気を高めよう
労働環境改善	<input type="checkbox"/> 作業しやすいお店・職場にしよう
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的に作業しよう
	<input type="checkbox"/> 人的ミス（ヒューマンエラー）をなくそう

2. 生産性向上の目標

計画期間 (注1)	平成31年4月1日 ~ 令和5年3月31日（4年間）
--------------	----------------------------

領域	具体策	現状 (注2)(注3)	計画期間終了後 (注2)
収益向上	ヘッドスパメニュー、メイクメニュー等の新規メニューを追加することで、近隣の同業他社との差別化を図り、新規顧客を獲得する。	新規メニューでの売上0	新規メニューの売上が売上全体に占める割合を20%まで高める。
顧客満足向上	従業員を積極的に外部研修に参加させ、新しい技術の習得や接遇の向上を図ることで、顧客満足度を高め、顧客のリピーター化を図る。	リピーター割合50%	リピーター割合60%
労働環境改善	HP上での予約受付を開始し、従業員が電話対応に追われる時間を削減する。	電話予約：80% 店頭予約：20%	HP予約：40% 電話予約：50% 店頭予約：10%

	現状（注3）	計画期間終了後
営業利益	〇〇〇千円	〇〇〇千円

(注1) 計画期間は「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」の「本事業計画の目標達成期間」を記載してください。

(注2) 可能な限り、数値を用いてご記載ください。

(注3) 創業前及び創業後1年未満の場合は、見込を記載してください。

3. 実施にあたり、指導を受けている経営指導員等の専門家がいない場合は、その専門家の所属・名前

(所属している機関名)	△△△県生活衛生営業指導センター
(担当者名)	山田 太郎

記載例(創業者用(飲食業))

振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書

事 項		内 容	
振興計画上の位置付け		経営マネジメントの合理化及び効率化・営業者及び従業員の技能の向上に関する事業	
生産性向上に係る事業計画書の有無		有 (裏面参照：低減利率 0.30%)	無 (表面のみ：低減利率 0.15%)
目標達成期間		令和元年 1 1 月 1 日～令和 3 年 1 0 月 3 1 日 (2 年間)	
現状分析	立地条件	駅前に立地	
	主な顧客	サラリーマン、OL、観光客(インバウンドを含む。)	
	お店の特徴	契約農家から安全な食材を取り寄せる。	
	お店の強み	駅前に近いので立地条件は良く、観光スポットへのアクセスも至便	
経営課題 (何が問題となっているか)		競合過多 少子高齢化・人口減少 人材育成 効率的な店舗オペレーションの構築	
経営課題の解決策		リーズナブルなランチメニューを導入し、口コミやSNSによる顧客確保 休日の観光客向けに地元の食材を利用したメニューの考案 システムキッチン、キャッシュレス対応のレジ ヘルシーメニューの導入。総カロリー表示、塩分量表示。	
経営課題の解決の為に必要な費用		運転資金 設備資金 ※○をつける 借入内容 店舗内装、厨房設備、キャッシュレス対応レジ、人件費等諸経費 内 訳 店舗内装費用 ○○千円(見積書 別添1) 設備導入費用 ○○千円(見積書 別添2) 人件費等諸経費 ○○千円(創業計画書) 合 計 ○○千円(詳細は借入申込書参照)	
資金調達計画		・自己資金 ○○千円 ・日本公庫 ○○千円	
期待される成果等 (売上の増加、来客数の増加、経費の縮減等できるだけ具体的に)		①売上：(平日月商○千円+休日月商○千円)×12ヶ月=○千円 ②回転率：平日平均0.8回転、休日平均1.2回転 ③営業利益率：原価率○%以内、人件費・家賃等固定費○%以内 → ①～③の成果により、2年以内に収益率○%を達成	

令和元年 1 1 月 ○○日

下記の事業計画書を提出します(該当するものを☑してください。)

- 振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書
 生産性向上に係る事業計画書

(商号又は法人名) ビストロ○○
 (住所又は所在地) ○○県▲▲市◇◇町 1-2-3
 (事業主又は代表者名) 田中 一郎

上記事業計画について、確認済みである。

会計書類は、青色申告書(その他(創業計画書))を事業者において準備していることを確認した。

令和元年 1 1 月 ○○日

(組合名) ○○県飲食業生活衛生同業組合
 (理事長名) 中田 花子

組合記入欄 (この欄は記入しないでください)	事業成果についての理事長の評価、所見等	年 月 日記載
---------------------------	---------------------	---------

(裏面)

生産性向上に係る事業計画書（振興事業促進支援融資制度）

1. 計画の内容（生産性向上ガイドライン・マニュアルに基づく取組み）

生産性向上ガイドライン・マニュアル上の位置づけ	
領域	分類（該当するもの全てに☑を付ける。）
収益向上	<input checked="" type="checkbox"/> 特長ある店舗・施設づくりで業績を改善しよう
	<input type="checkbox"/> 費用を削減して収益性を高めよう
	<input type="checkbox"/> ICTを活用して集客力を高めよう
顧客満足向上	<input checked="" type="checkbox"/> お客様の満足度を高めよう
	<input type="checkbox"/> 優良顧客を増やそう
	<input checked="" type="checkbox"/> インバウンドのお客様を増やそう
	<input type="checkbox"/> 従業員のスキルとやる気を高めよう
労働環境改善	<input type="checkbox"/> 作業しやすいお店・職場にしよう
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的に作業しよう
	<input type="checkbox"/> 人的ミス（ヒューマンエラー）をなくそう

2. 生産性向上の目標

計画期間 (注1)	令和元年11月1日 ~ 令和3年10月31日（2年間）
--------------	-----------------------------

領域	具体策	現状 (注2)(注3)	計画期間終了後 (注2)
収益向上	・リーズナブルなランチメニューを導入し、サラリーマンやOLを取り込む。 ・口コミやSNSによる集客に力を入れる。 ・休日には、地元食材をふんだんに使ったメニューを導入して、観光客を取り込む。	売上見込 2,800千円/月	売上見込 3,600千円/月
顧客満足向上	・キャッシュレス対応レジの導入で、インバウンドを含む顧客の利便性を向上させる。	インバウンド 新規顧客10名/月	インバウンド 新規顧客15名/月
労働環境改善	・店舗オープン時は厨房とホールで作業を分担するが、厨房とホールを兼務できるよう従業員教育を行い、効率的に作業ができるようにする。	人件費率 35%	人件費率 30%

	現状（注3）	計画期間終了後
営業利益	〇〇〇千円	〇〇〇千円

(注1) 計画期間は「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」の「本事業計画の目標達成期間」を記載してください。

(注2) 可能な限り、数値を用いてご記載ください。

(注3) 創業前及び創業後1年未満の場合は、見込を記載してください。

3. 実施にあたり、指導を受けている経営指導員等の専門家がいない場合は、その専門家の所属・名前

(所属している機関名)	〇〇県飲食業生活衛生同業組合
(担当者名)	佐藤 次郎

記載例(創業者用(美容業))

振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書

事 項		内 容	
振興計画上の位置付け		営業者及び従業員の技能の向上に関する事項	
生産性向上に係る事業計画書の有無		有 (裏面参照：低減利率 0.30%)	無 (表面のみ：低減利率 0.15%)
本事業計画の目標達成期間		平成30年11月1日～令和元年10月31日(1年間)	
現状分析	立地条件	駅から徒歩10分弱。大通りから一本入った公園の前に位置	
	主な顧客	女性と若い男性	
	お店の特徴	無料のカウンセリング、スカルプケアを実施	
	お店の強み	大通りの一本裏なので静かな雰囲気。席から公園の緑が観られる。	
経営課題 (何が問題となっているか)		「サービスの質」と「卓越した技術」を売りにする必要あり。 近隣に低価格カット店が進出し、競争激化 従業員のさらなる技術の向上と新技術の習得が必要 サービスメニューの充実	
経営課題の解決策		SNSでの積極的な情報発信だけでなく、サロン検索サイトで口コミを投稿した顧客への割引サービスを実施する。 従業員を研修に参加させ、新しい技術や接遇などを習得させる。 ヘッドスパメニュー、メイクメニュー等、付加価値の高いメニューを追加する。	
経営課題の解決のために必要な費用		運転資金 設備資金 ※○をつける 借入内容 店舗内装、美容椅子、洗髪ユニット、人件費等諸経費 内訳 店舗内装費用 ○○千円(見積書 別添1) 設備導入費用 ○○千円(見積書 別添2) 人件費等諸経費 ○○千円(創業計画書) 合 計 ○○千円(詳細は借入申込書参照)	
資金調達計画		・自己資金 ○○千円 ・日本公庫 ○○千円	
期待される成果等 (売上の増加、来客数の増加、経費の縮減等できるだけ具体的に記載)		①売上：(平日月商○○千円+休日月商○○千円)×12ヶ月=○○千円 ②顧客単価等：新規顧客月10名以上、平均客単価6,000円以上 ③営業利益率：人件費・家賃等固定費○○%以内 → ①～③の成果により、○年以内に収益率○○%を達成	

平成30年11月○○日

下記の事業計画書を提出します(該当するものを☑してください)。

- 振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書
 生産性向上に係る事業計画書

(商号又は法人名) ○○美容室
 (住所又は所在地) ○○県▲▲市◇◇町1-2-3
 (事業主又は代表者名) 鈴木 美子

上記事業計画について、確認済みである。

会計書類は、青色申告書(その他(創業計画書))を事業者において準備していることを確認した。

平成30年11月○○日

(組合名) ○○県美容業生活衛生同業組合
 (理事長名) 木鈴 八太

組合記入欄 (この欄は記入しないでください)	事業成果についての理事長の評価、所見等	年	月	日	記載
---------------------------	---------------------	---	---	---	----

(裏面)

生産性向上に係る事業計画書（振興事業促進支援融資制度）

1. 計画の内容（生産性向上ガイドライン・マニュアルに基づく取組み）

生産性向上ガイドライン・マニュアル上の位置づけ	
領域	分類（該当するもの全てに☑を付ける。）
収益向上	<input checked="" type="checkbox"/> 特長ある店舗・施設づくりで業績を改善しよう
	<input type="checkbox"/> 費用を削減して収益性を高めよう
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTを活用して集客力を高めよう
顧客満足向上	<input checked="" type="checkbox"/> お客様の満足度を高めよう
	<input type="checkbox"/> 優良顧客を増やそう
	<input type="checkbox"/> インバウンドのお客様を増やそう
	<input type="checkbox"/> 従業員のスキルとやる気を高めよう
労働環境改善	<input checked="" type="checkbox"/> 作業しやすいお店・職場にしよう
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的に作業しよう
	<input type="checkbox"/> 人的ミス（ヒューマンエラー）をなくそう

2. 生産性向上の目標

計画期間 (注1)	平成30年11月1日 ~ 令和元年10月31日（1年間）
--------------	------------------------------

領域	具体策	現状 (注2)(注3)	計画期間終了後 (注2)
収益向上	・カットだけでなく、ヘッドスパ等の付加価値の高いメニューを提供 ・SNSやサロン検索サイトを活用した集客強化	平均客単価 5,000円	平均客単価 6,000円
顧客満足向上	・無料カウンセリングやスカルプケアを実施し、顧客一人一人の状況に応じたサービスを提供	新規顧客月 10名	新規顧客月 15名
労働環境改善	月1回以上、全従業員での社内研修を実施し、カットだけでなく、ヘッドスパ、メイク、カウンセリング等の知識を従業員間で共有する。	ヘッドスパ等の施術ができる従業員：1名	ヘッドスパ等の施術ができる従業員：全従業員

	現状（注3）	計画期間終了後
営業利益	〇〇〇千円	〇〇〇千円

(注1) 計画期間は「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」の「本事業計画の目標達成期間」を記載してください。

(注2) 可能な限り、数値を用いてご記載ください。

(注3) 創業前及び創業後1年未満の場合は、見込を記載してください。

3. 実施にあたり、指導を受けている経営指導員等の専門家がいない場合は、その専門家の所属・名前

(所属している機関名)	△△△県生活衛生営業指導センター
(担当者名)	山田 太郎